

平成 16 年 6 月期 第1四半期業績の概況(連結)



平成15年10月28日

会社名 グッドウィル・グループ株式会社 (コード番号 4723 登録銘柄)
 (URL <http://www.gwg.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役会長
 氏名 折口 雅博
 先 役職名 常務取締役管理本部長兼会長室長
 氏名 金崎 明 TEL (03) 3405 - 9228

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年6月期第1四半期業績の概況(平成15年7月1日～平成15年9月30日)

(1) 経営成績

(単位:百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年6月第1四半期	19,029	(43.3)	1,253	(17.5)	1,204	(15.6)
15年6月第1四半期	13,282	(20.5)	1,066	(48.3)	1,041	(38.7)
(参考)15年6月期	62,272	(31.6)	4,971	(32.3)	4,814	(31.6)

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績に関する補足説明]

当四半期におけるわが国経済は、輸出環境が好転し、企業の業況感に改善が見られるとともに設備投資は緩やかに回復しているものの、個人消費は依然として低調に推移し公共投資も減少を続けており、為替が円高・ドル安で推移するなど先行きにはまだ不安定な要因もあり、力強い景気回復過程に入るかどうかは、不透明な状態です。

こうした状況の中、当企業グループは、グループの結束力強化と業務効率の向上を目的として、グループ各社の本社機能を六本木ヒルズに集約いたしました。また、請負事業においては新たに54支店の出店を行いさらなる顧客・登録スタッフ双方の利便性の向上をはかるとともに、専門性を高めております。顧客満足度の向上を目的としてコンストラクション統括部、オフィス統括部、エキスパート統括部の3統括部をエキスパート統括部に統合しました。介護・医療支援事業においては、引き続き拠点数の拡大を積極的に進めている在宅介護事業部門を、当四半期中に94拠点出店するなど好調に推移いたしました。施設介護事業においては、中核となるグループホーム事業において、平成15年7月に第3号店となる「ほほえみ平塚」の開所をはじめ計4施設を開所し、有料老人ホーム事業では、平成15年8月に第2号店となる「コムスホームはるひ野」を開所いたしました。人材関連事業においては、ドライバー派遣事業が好調に推移するとともに、社員カウンセリングプログラム(EAP)事業についても順調に推移いたしました。

この結果、連結売上高は前年同四半期比57億46百万円増加の190億29百万円、経常利益は前年同四半期比1億86百万円増加の12億53百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成16年6月期の連結業績予想(平成15年7月1日～平成16年6月30日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	37,500	2,900	1,350	7,306	85
通期	80,000	5,900	3,000	16,237	45

[業績予想に関する定性的情報]

業績予想は当初予想と変更はありません。

(参考)

1. 当該四半期の連結売上高の状況

(単位:千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	16年6月第1四半期	15年6月第1四半期	増減率
		自平成15年7月01日 至平成15年9月30日	自平成14年7月01日 至平成14年9月30日	
セグメント	請負事業	10,787,585	8,036,648	34.2%
	人材関連事業	481,403	382,594	25.8%
	介護・医療支援事業	7,760,121	4,863,120	59.6%
	合計	19,029,110	13,282,362	43.3%

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当企業グループが行う業務は人員数、期間等が一樣ではなく、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また、上記の金額は、セグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。

4.セグメント別区分について

請負事業 ... 軽作業(当社及び当社子会社株式会社ソア)

人材関連事業 ... 社員カウンセリングプログラム(EAP)(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)、採用支援(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)、ドライバー派遣(当社子会社ソア)

介護・医療支援事業 ... 在宅介護、施設介護、訪問歯科診療サポート(当社子会社株式会社コムスン)

5.売上高の数値は、未監査であります。

2. 第1四半期の連結損益計算書

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	16年6月第1四半期 自平成15年7月01日 至平成15年9月30日 (A)		15年6月第1四半期 自平成14年7月01日 至平成14年9月30日 (B)		前年同相比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	19,029,110	100.0%	13,282,362	100.0%	5,746,747
売上原価	12,579,854	66.1%	8,851,243	66.6%	3,728,610	42.1%
〔売上総利益〕	6,449,256	33.9%	4,431,119	33.4%	2,018,137	45.5%
販売費及び一般管理費 (うち連結調整勘定償却)	5,196,175 (96,242)	27.3% (0.5%)	3,364,626 (94,396)	25.3% (0.7%)	1,831,549 (1,845)	54.4% (2.0%)
〔営業利益〕	1,253,080	6.6%	1,066,492	8.0%	186,587	17.5%
営業外収益						
受取利息	1,119	0.0%	3,924	0.0%	2,804	71.5%
その他	22,339	0.1%	13,160	0.1%	9,178	69.7%
営業外費用						
支払利息割引料	71,130	0.4%	41,008	0.3%	30,122	73.5%
その他	499	0.0%	646	0.0%	146	22.6%
〔経常利益〕	1,204,909	6.3%	1,041,922	7.8%	162,987	15.6%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同相比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A})\text{当年第1四半期の実態} - (\text{B})\text{前年第1四半期の実態}}{(\text{B})\text{前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、未監査であります。

3. 第1四半期の連結貸借対照表【追加】

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	16年6月第1四半期 平成15年9月30日現在	
		金額	百分比
流動資産		31,291,441	66.0%
固定資産			
有形固定資産		2,924,590	6.2%
無形固定資産		9,051,489	19.1%
投資その他の資産		4,123,517	8.7%
繰延資産		21	0.0%
資産合計		47,391,059	100.0%
流動負債		24,074,959	50.8%
固定負債		4,994,083	10.5%
負債合計		29,069,043	61.3%
少数株主持分		485,228	1.0%
資本合計		17,836,786	37.6%
負債、少数株主持分及び資本合計		47,391,059	100.0%

(注) 1.上記の数値は、未監査であります。

4. 第1四半期の個別売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名		期別	16年6月第1四半期	15年6月第1四半期	増減率
			自平成15年07月01日 至平成15年09月30日	自平成14年07月01日 至平成14年09月30日	
請 負 作 業	キャストイング作業		8,092,917	6,759,052	19.7%
	コンストラクション作業		1,110,946	366,286	203.3%
	セールスプロモーション作業		540,435	284,522	89.9%
	テクニカルサポート作業		284,848	130,932	117.6%
	オフィスサポート作業		151,441	78,868	92.0%
	イベント作業		300,697	149,493	101.1%
	その他		51,705	-	-
計			10,532,992	7,769,155	35.6%

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当社が行う請負業務は人員数、期間等が一樣ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.品目区分について

請負作業・キャストイング作業 ... 軽作業全般の請負作業

請負作業・コンストラクション作業 ... 建設、内装現場の請負作業

請負作業・セールスプロモーション作業 ... 店頭での販売促進等の請負作業

請負作業・テクニカルサポート作業 ... マルチメディア関連の請負作業

請負作業・オフィスサポート作業 ... オフィス・事業所内軽作業

請負作業・イベント作業 ... イベント会場の設営・撤去等の請負作業

請負作業・その他 ... 上記以外の請負作業など

4.売上高の数値は、未監査であります。

5. 第1四半期の個別損益計算書

(単位：千円、単位未満切り捨て)

期別 科目	16年6月第1四半期 自平成15年07月01日 至平成15年09月30日 (A)		15年6月第1四半期 自平成14年07月01日 至平成14年09月30日 (B)		前年同环比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	10,532,992	100.0%	7,769,155	100.0%	2,763,837
売上原価	6,931,913	65.8%	5,195,732	66.9%	1,736,181	33.4%
〔売上総利益〕	3,601,079	34.2%	2,573,423	33.1%	1,027,656	39.9%
販売費及び一般管理費	2,655,717	25.2%	1,792,057	23.1%	863,660	48.2%
〔営業利益〕	945,361	9.0%	781,366	10.0%	163,995	21.0%
営業外収益						
受取利息	1,081	0.0%	8,276	0.1%	7,195	86.9%
その他	104,749	1.0%	35,798	0.5%	68,951	192.6%
営業外費用						
支払利息割引料	45,093	0.4%	29,727	0.4%	15,366	51.7%
その他	5,408	0.1%	477	0.0%	4,931	1033.8%
〔経常利益〕	1,000,690	9.5%	795,237	10.2%	205,453	25.8%

- (注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。
2. 前年同环比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A})\text{当年第1四半期の実態} - (\text{B})\text{前年第1四半期の実態}}{(\text{B})\text{前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、未監査であります。

6. 第1四半期の個別貸借対照表【追加】

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	16年6月第1四半期 平成15年9月30日現在	
		金額	百分比
流動資産		19,036,077	35.3%
固定資産			
有形固定資産		2,493,331	4.6%
無形固定資産		254,095	0.5%
投資その他の資産		32,133,990	59.6%
資産合計		53,917,494	100.0%
流動負債		13,615,426	25.3%
固定負債		4,546,860	8.4%
負債合計		18,162,287	33.7%
資本合計		35,755,207	66.3%
負債及び資本合計		53,917,494	100.0%

(注) 1.上記の数値は、未監査であります。